

信者の決断 (ヨシュア 1:7-9)

すべての人には、神様以外には埋めることができない空洞があります。神様から離れているので、そこにサタンが入り、根本的に、どうしようもない問題を患い、心には不安を抱えて生きています。それが、なにかのきっかけで目に見えるように現れ、精神的な症状が出てきて、そのうち、肉体的な症状も現れるようになります。病、依存症、中毒、執着する症状があらわれ、人間関係、家庭、仕事、国家、すべてが崩壊して争うようになります。幸せになりたい、がんばって、壁にぶつかって限界を迎えます。そのようにして生きていき、死後はさばかれて地獄に行く運命です。それが、自分の代だけではなく、子孫代々に受け継がれていきます。これがこの世の姿です。

この世は、罪によって神様を離れ、神様と関係なく、自分中心に生きています。霊的にまったく無知で、お金さえあれば良いと、肉的な豊さに執着して、その豊さをもたらす成功を目標として人生を生きています。これが、さまよい、苦しむ人生の原因です。神様から離れ、サタンが作った落とし穴に落ちてしまい、出られないので、そのように生きるしかないのです。サタンは、落とし穴におちている人が、そこから出られないように、枠を作っています。偶像崇拜、宗教、占いという枠を伝統文化というきれいなことばで飾って、そこから出られないようにさせています。その結果、霊的にも、肉的にも、人生は苦しむしかないのです。ないかのせい、自分のせいだと、なんとかしようと思いますが、根本的に改善不可能です。そのような暗やみの中に生きてる人には、その暗やみに打ち勝てる「光」だけが必要です。その光を神様は約束してくださりました。それは、ただキリストだけです。

私たちは、神様のあわれみのゆえに、暗やみの中から救い出され、光であるキリストを暗やみの現場に伝えるために、キリストを味わって、光を放つ現場灯台として召されました。それが、世の人とはまったくちがう、クリスチャンのアイデンティティです。神様は現場を征服できる準備をすべてしてから、私たちが現場灯台として置かれ、私た

ちが祝福を味わうことができるように、整えてくださっています。イスラエルの民も、カナンの地を征服するために、40年間、荒野で整えられました。いま、カナンの地に入る前に、モーセからヨシュアにバトンが渡された場面が、きょうの聖書箇所です。とまどっているヨシュアに、神様が語られました。カナンを征服する前に、すでに現場征服の祝福は与えられているので、どうすればよいのかを語られたのです。

神様は「わたしのしもべモーセがあなたに命じたすべての律法を守り行なえ。」と言われましたが、それは、モーセのために命じたのではなく、あなたのために命じたのだということです。みことばは、牧師のためではなく、信徒である「私のためのもの」です。みことばを自分のものとしましょう。まず、

みことばの整理をして、結論を出しましょう。キリスト以外には、絶対に希望はないこと、そのキリストの約束を成就して十字架で死に、復活され、昇天されたイエスが「その」キリストであるということ、そして、その

イエス・キリストを信じる者は、永遠のいのちが与えられ、イエスの霊が宿る最高に幸せな者になりました。この世にはキリスト以外は希望はなく、私が存在する理由は、希望のない世の中で、キリストの光を放ち、神の国をなすことだと整理しましょう。そして、私の本質は伝道者であり、どんな職業になるのかわかりませんが、神様が決めておられるので、なにになっても良く、神様が用意されているものを見つけて行くという結論を出しましょう。

そして、「これを離れて右にも左にもそれではない」と言われているように、**伝道者として生きることを決断**して、どんなことがあっても、伝道者の道を進みましょう。伝道者の歩みには、サタンも邪魔をして、迫害もあります。しかし、どんなことがあっても、伝道者の人生をまっとうすると決断するのです。パウロは、どんな状況でもかまわないと言いました(ピロ 4:12)。すべて過程にすぎないからです。門が閉ざされても落胆せず、あきらめません(使徒 16:6-10)。弱さゆえに失敗することもあります。聖書の中の人物も、弱さゆえに失敗

しました。しかし、どんな失敗も、伝道者の歩みを進むことは変わりません。

神様は改めて「強くあれ。雄々しくあれ。恐れではならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」と言われます。**契約を握り、揺れないと決心**しましょう。サタンがだまそうと攻撃しますが、勝利者として堂々と歩むと決心しましょう。みことばがあるので、強く、雄々しく、恐れないと決心しましょう。

みことばを整理して結論が出るなら、決断して、決心しましょう。不安、心配、おそれ、悩みはサタンのしわざです。ただ信仰によって、感情に左右されることなく、進みましょう。そしてまことにすぐれたものを見分ける目をくださいと祈りましょう(ピロ 1:10,4:11)。どんな中でも満たされる秘訣を学ぶように祈りましょう。伝道者の道を進むため、イエスの心構えと同じものを抱けるように(ピロ 2:5)、愛

の実践をできるように(ヨハネ 15:12)祈りましょう。言い訳、文句などなく従順、服従の道についていきましょう(ピロ 2:8)。神様が罪人を愛しておられるのですから、なんの理由もありません。福音宣教の道を進むことだけが理由です。そうすれば、見る目が変わって、悩みを抱えている人が見えるようになります。人々が近づいてきます。その人に、キリスト、神の愛が必要で、悪魔のしわざが打ちこわされるべきだと祈るようになるでしょう。みことばを整理して、結論を出し、伝道者として人生を決断して、サタンにだまされずに勝利者として生きて行く決心をしましょう。現場でキリストによって答えを与える門が開かれることを体験しましょう。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

ヨシュア 1:7-9 信者の決断

なるほど/ 神様は、サタンに縛られて、暗闇をさまよう現場に光を照らして、現場を生かす祝福を備えて、信者を灯台として召された。そして、その祝福を味わえるように御言葉に結論を出し、御言葉によって人生を決断して、少しも揺れないように決心させる。

ならば/ 福音が結論になり、伝道を決断し、今日の勝利を決断して、現場に神の国が臨まれ、門が開かれることを体験しよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年4月7日)

1 部礼拝：そこに集まった人々 (使 1:1-8)

目に見えないものすごい力を持って、すべての契約が成就される現場、勝利したキリストが勝利の旗を刺すために送る現場にいるようにされて感謝します。三つのろいを解決したキリストの奥義を持って味わいながら、イエスがキリストである事実を証ししますように。私が行く場所ごとに暗やみの勢力が崩れて、神の国の奥義を持って世の中を生かしますように。ただ聖霊、ただ力、ただ証人の奥義を持って、国家、現場、世の中を生かして征服する証人として立ちますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝：最高の答えの現場 (使 2:1-13)

私が受ける答えが何かを知って、最高の答えの現場にいさせて、器の準備をするようにされて感謝します。必ず成し遂げられる預言されたみことば、約束されたみことば成就を味わうカルバリの丘のみことばの器を準備しますように。私の現場を決めて伝道運動を広げるオリーブの山ミッションの器を準備しますように。正確に備えられた神様の力を準備しますように。毎日霊的サミットタイムを持って、すべてを祈りにつなげる 24、25、永遠の答えを味わいますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。